# 第22回議会報告会　報告書

| | | | |
|---|---|---|---|
| 地 域 名 | 宿南地域 | | |
| 年 月 日 | 令和４年４月25日（月） | 会 場 名 | 宿南ふれあい倶楽部 |
| 開始時間 | 19時30分 | 終了時間 | 21時00分 |
| 参 加 数 | 男性　　７人 | 女性　　１人 | 合計　　８人 |
| 班　　長 | 田路之雄 | 司 会 者 | 田路之雄 |
| 報 告 者 | 田村和也 | 書　　記 | 西田雄一 |
| 班 員 名 | 田路之雄、竹浦昭男、田村和也、西田雄一 | | |

| | 市　　民 | 対　　応 |
|---|---|---|
| 意見交換会における質疑 | ① 防火水槽の設置について、当地域は防火水槽の設置が少ない。要望も出しているが、土地所有者との土地交渉を地元に任せるなど地元の負担が大きい。行政も動いてほしい。 | ① 防火水槽の設置は、市民が安心して暮らすために大切なものであると認識している。地域としても、しっかり要望していくべきだと思う。 |
| | ② 除雪の問題点について、除雪範囲が狭い。せめて川東、三谷線のメイン道路はしっかり除雪してほしい。 | ② 本年度は除雪対策事業費として、多く予算化した。また、小型除雪機購入補助金として 3,000 千円を予算計上し、市内６地区に購入の補助を行っている。 |
| | ③ 地区で資源ごみ回収を行っているが、民間業者の買取価格は０円に近い。市の補助金を増額できないか。 | ③ 資源ごみ回収は将来的にも大切な事業であり、市も積極的に実施すべきであると考える。 |
| | ④ 老人クラブ補助金申請書類の作成が難しい。補助制度は必要であるが、申請書類など、細かい点が多すぎる。もう少し簡便なものにすべきではないか。このままでは老人クラブの役員のなり手がなくなる。 | ④ 現在の補助金申請の書類作成が大変であることは認識している。加入団体数、会員数も年々減少しており、防止策を考える必要がある。議会もともに考えたい。また、養父市独自の補助制度が必要であるとも考える。 |
| | ⑤ 移住定住の受入のプロジェクト事業として、空き家確保支援策はないか。 | ⑤ 移住定住支援策として、空き家バンク登録の改修経費の補助制度ある。Ｕ・Ｉターンの世帯に対し改修経費の 1/2、上限 150 万円、その他の所帯に 1/3、上限 100 万円、また、家財道具補助として、1/2、上限 10 万円がある。 |

| 市　　民 | | 対　　応 |
|---|---|---|
| 意見交換会での質疑 | ⑥　農業特区の現状はどうなのか。 | ⑥　農業特区事業者として、現在 13 社が参入している。市内の能座地区では酒米を栽培している。また、市内米里区では、農家レストランも行っている。 |
| その他（提言など） | なし | |
| 備考<br>なし | | |

議会報告会を実施したので、上記のとおり報告いたします。

令和４年４月 25 日

報告者　１班　　班長　　田路　之雄